

「入院期心不全患者における転倒・転落因子の検討、

転倒・転落が予後に与える影響」

へのご協力をお願い

このたび、「入院期心不全患者における転倒・転落因子の検討、転倒・転落が予後に与える影響」という当院独自の臨床研究にご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

高齢心不全患者さんは身体機能・認知機能が低く、栄養状態が悪い患者さんが多いことがわかっています。これらの特徴は、高齢者の重要な問題である転倒・転落の危険性を上げることがわかっています。また、転倒・転落による骨折は要介護・要支援状態に陥らせ介護保険料の増大に寄与し大きな社会問題の1つになっています。しかし、入院中の心不全患者さんの転倒・転落に関わる要因はあまりわかりません。さらに、入院中の転倒・転落と予後との関連はわかりません。

そこで、当院に入院された心不全患者さんを対象に転倒・転落に関連する要因と、転倒・転落が予後に与える影響を明確にするために本研究を行います。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーは漏洩しないように留意いたします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を下記連絡先までお伝え願いたいと存じます。連絡がないことをもって、研究参加にご同意いただいたこととさせていただきます。

1. 対象となる方

2019年1月1日から2021年12月31日までの3年間に急性非代償性心不全の診断で入院された患者さん

2. 研究課題名

入院期心不全患者における転倒・転落因子の検討、転倒・転落が予後に与える影響

3. 研究実施機関

山口県立総合医療センター リハビリテーション科・循環器内科

4. 研究の方法、目的、意義

本研究はすでに退院されている患者さんのデータを使用して行います。入院中の心不全患者さんにおける転倒・転落因子が明確になることにより予防に寄与することができ、さらに予後との関連が明らかになることにより入院中の転倒・転落に対する意

識がより高まることが予測されます。

5. 協力をお願いする内容

診療録(カルテデータ)から心不全の基礎疾患, 年齢, 性別, body mass index(BMI), 栄養指標として入院時 Mini Nutritional Assessment-Short Form (MNA-SF)と退院時 Geriatric nutritional risk index(GNRI), 世帯, 認知機能, 介護保険の有無, 合併症, 心機能, 血液検査値, 初期治療, 入院中・退院時内服薬, 退院時身体機能, 入院期間, 転帰の項目について調査いたします。

6. 研究実施期間

承認日から 2024 年 8 月 31 日までにデータを解析いたします。

7. プライバシーの保護について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(平成 28 年法律第 89 号)に則り, 個人情報の取り扱いには, 十分に配慮いたします。研究対象者の情報は, 電子カルテ上の診療情報から必要な情報を収集し, 個人が特定できないように識別符号を割り付けるため個人情報が漏洩することはありません。

8. お問い合わせ

この研究について, 何かお聞きになりたいこと, 心配なことがありましたら, いつでも遠慮なく研究責任者にお尋ねください。

ご希望があれば, 他の研究対象者の個人情報保護や当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で, 研究計画及び研究方法に関する資料を閲覧することができます。

【研究責任者】

研究参加にご同意をいただけない患者さん及び関係者の皆様からの相談等への対応窓口は以下の通りです。

〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 山口県立総合医療センター

研究責任者: 三浦 正和(リハビリテーション科 理学療法士)

連絡先: 0835-22-4411 (山口県立総合医療センター)